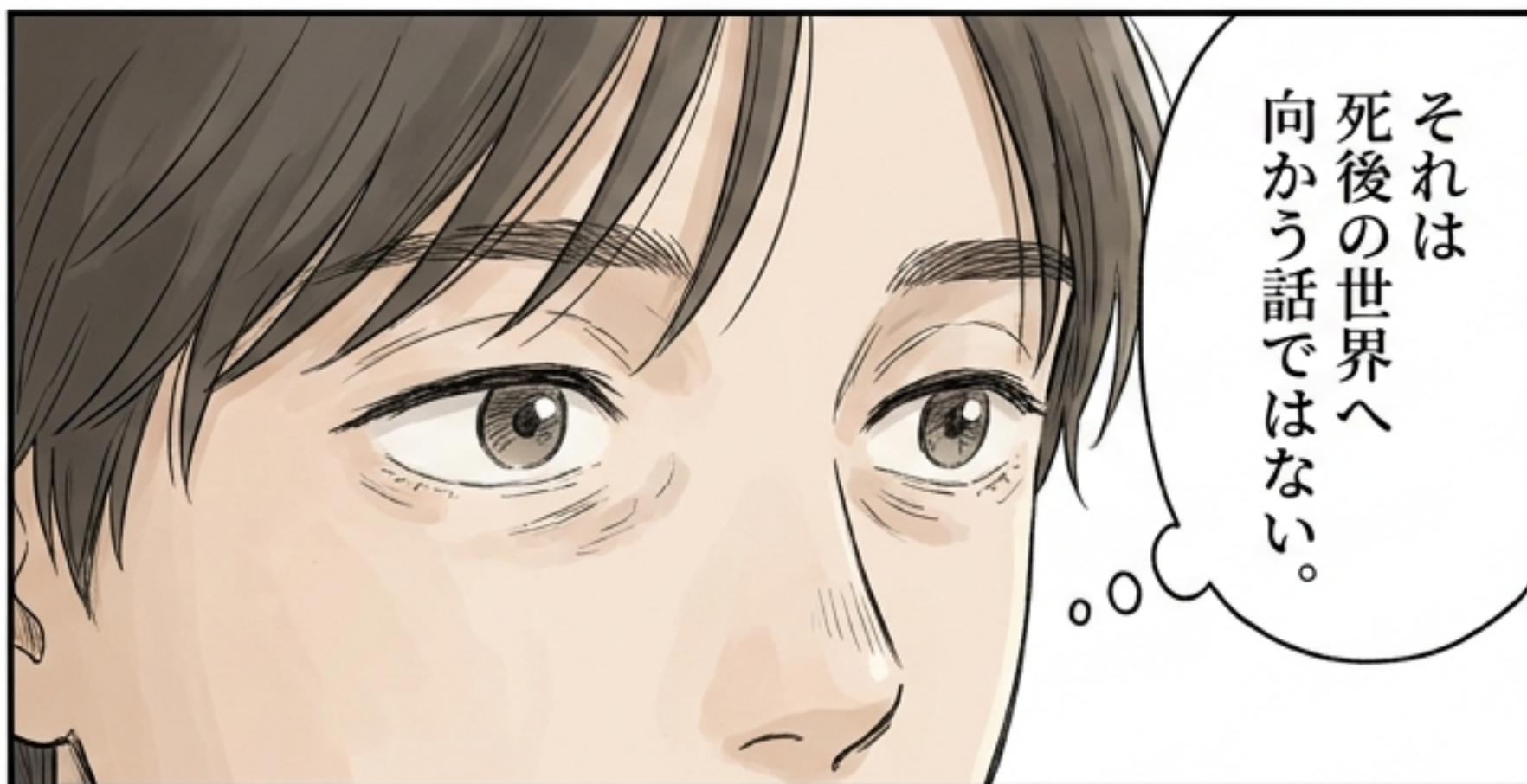
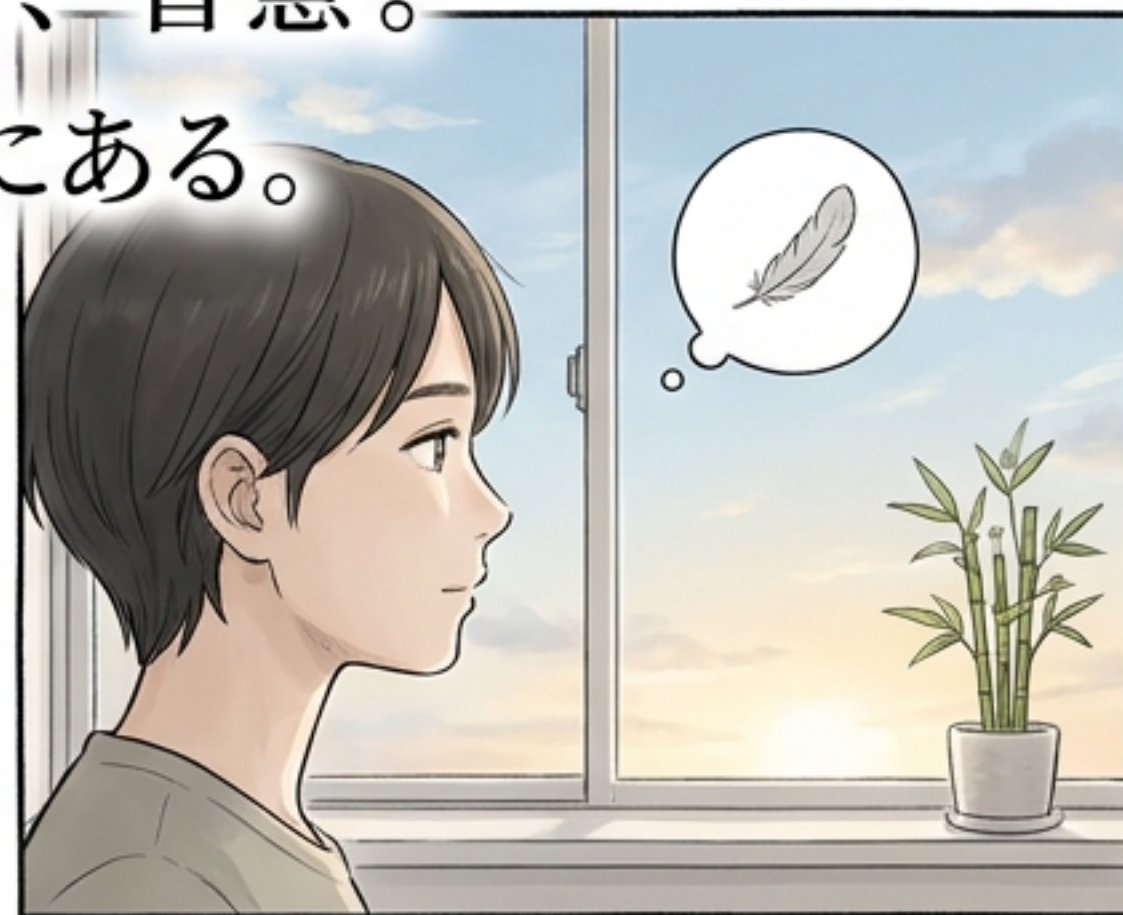
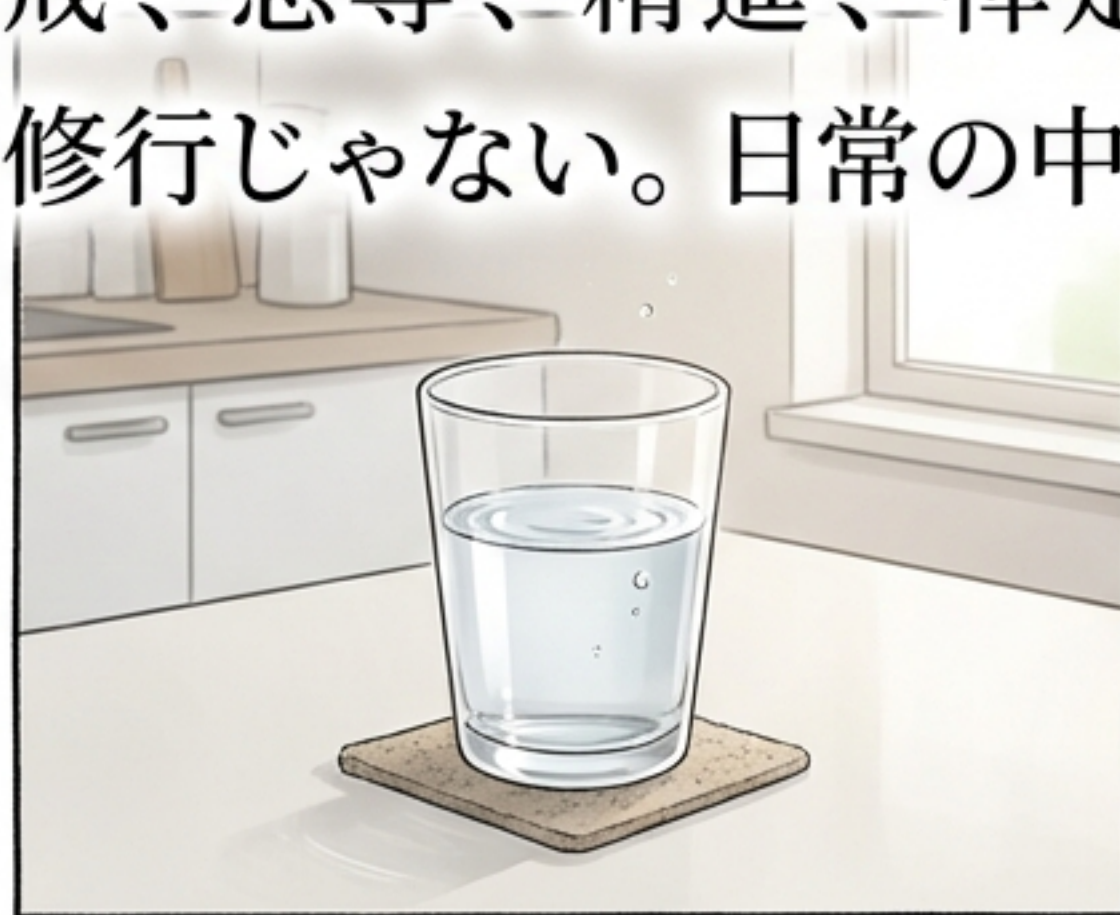
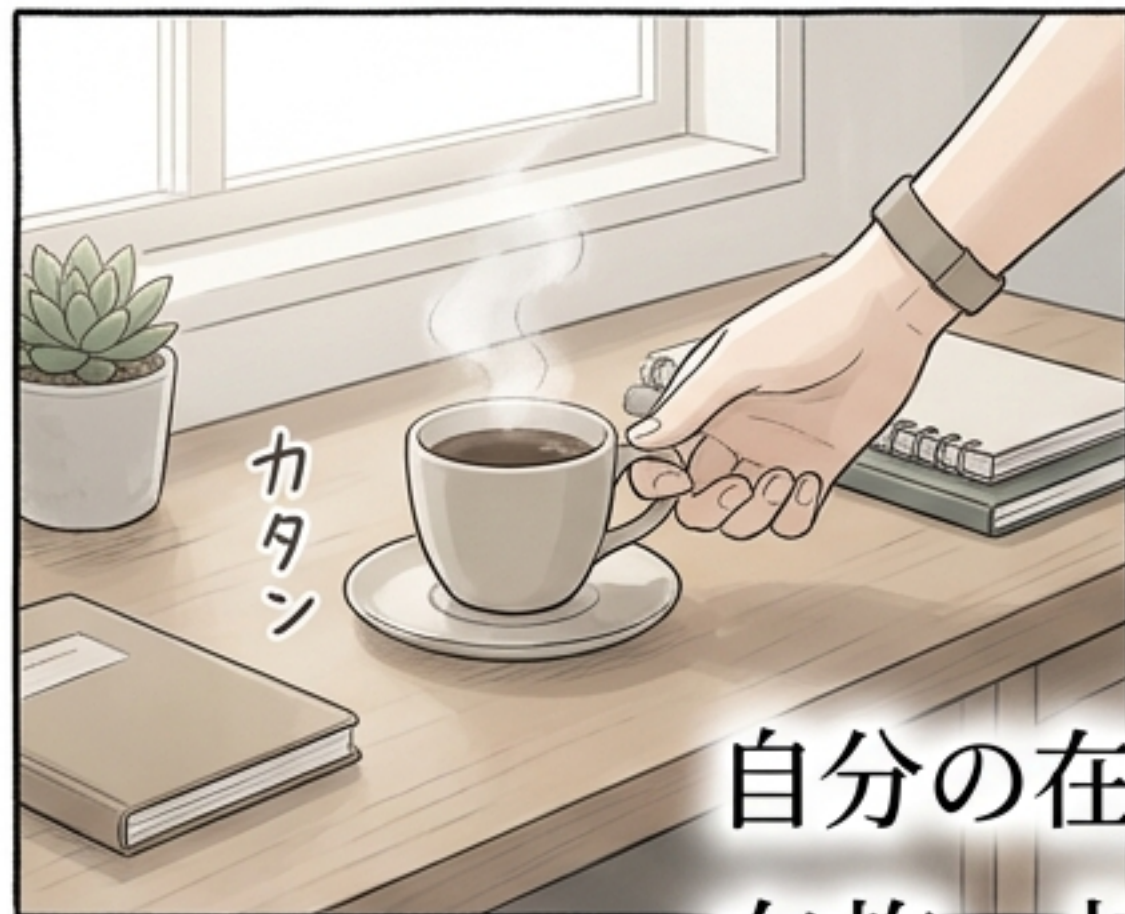


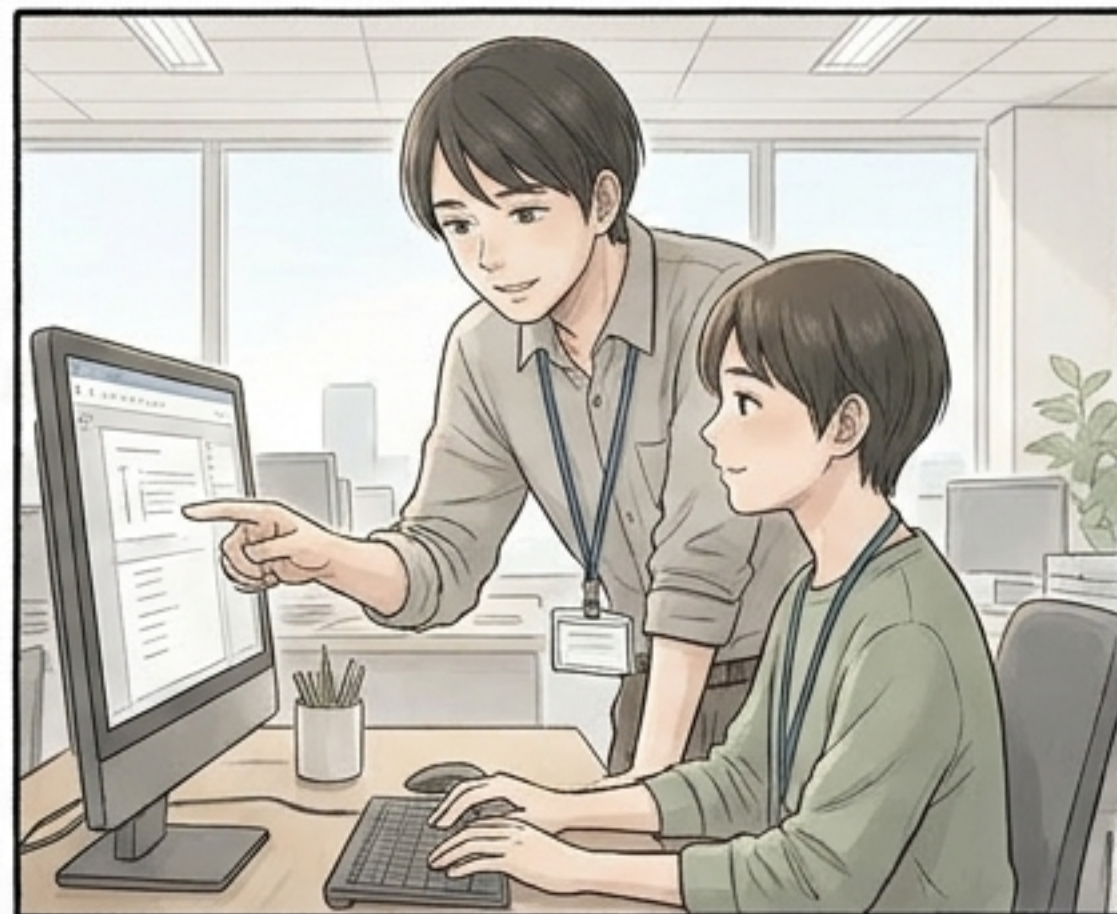
六波羅蜜（ろくはらみつ）。



生きている間に悟りの境地に近づくこと。
今この瞬間の生き方そのものを整え、
自分自身の在り方を高めていく道である。



自分の在り方を高めていく、六つの道がある。
布施、持戒、忍辱、精進、禅定、智慧。
特別な修行じゃない。日常の中にある。





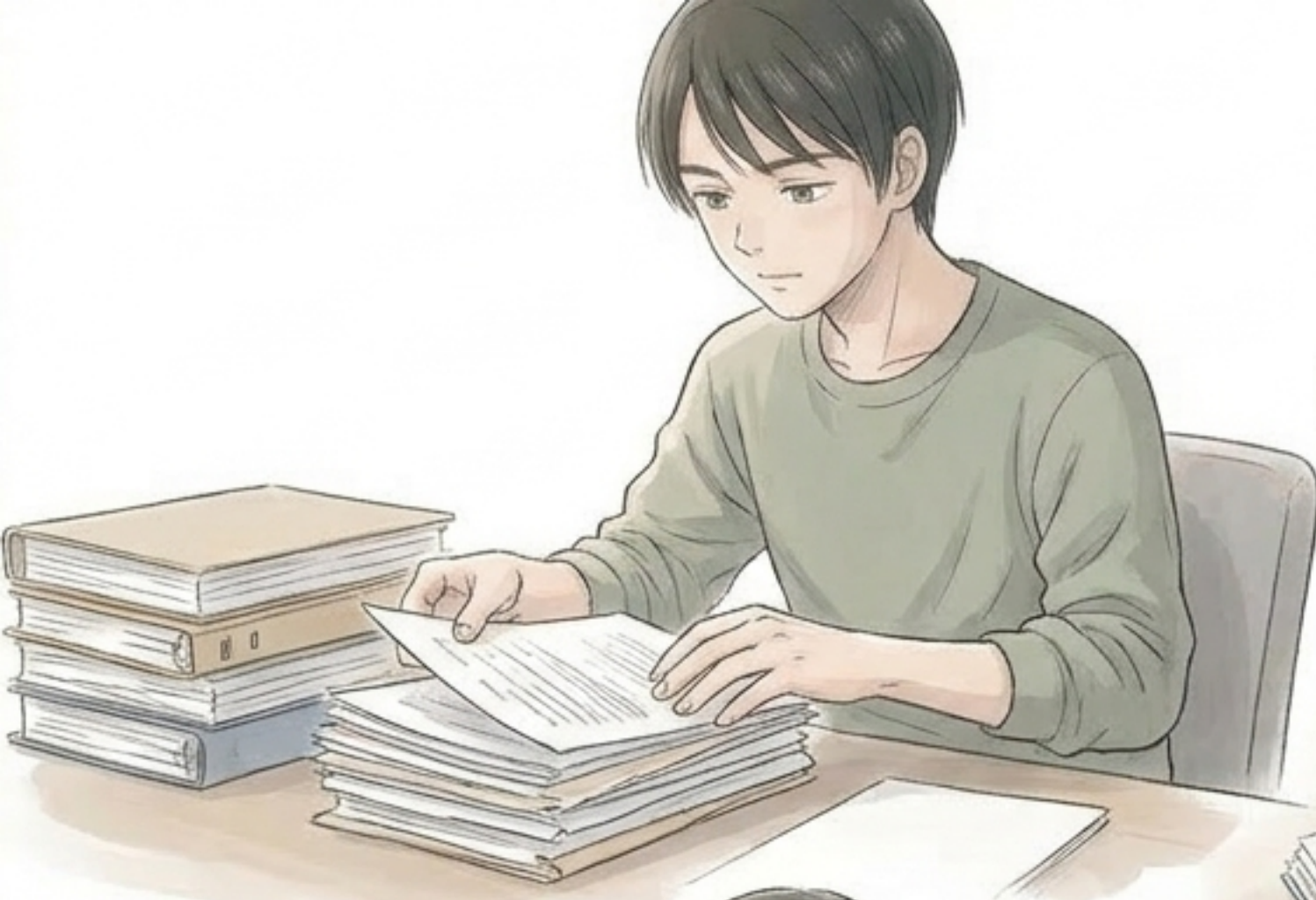
【忍辱】
怒りや不満。
理不尽。
苦しさ。



ただ我慢し続けることではない。
感情に飲まれず、反応せずに一度受け止める。
冷静に処理する力である。

忍辱があると、外部の影響に振り回されなくなる。



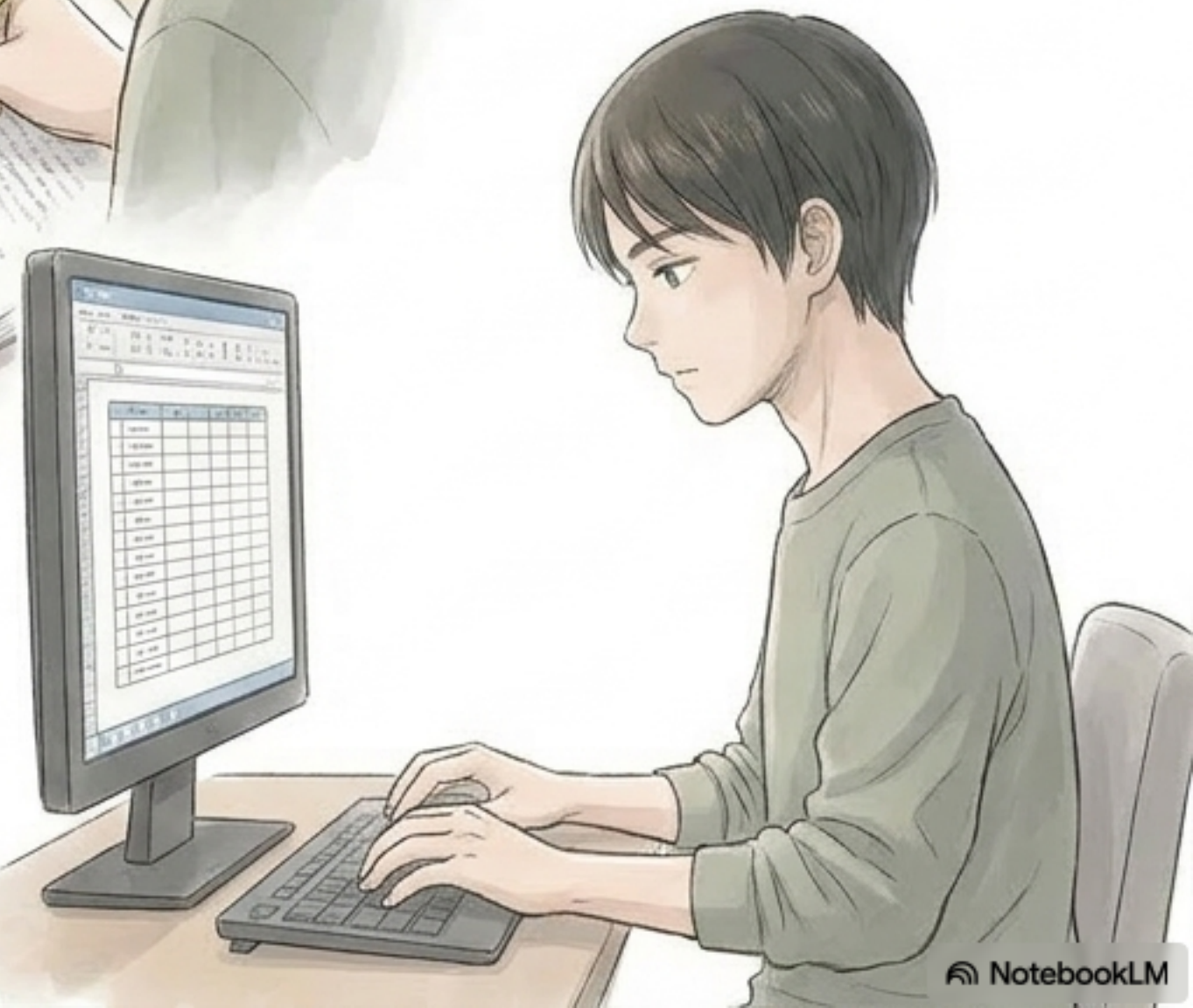


【精進】
続ける力。
努力を積み重ねる力。

特別なことではない。
日々の積み重ねである。
一流と凡人の差は、
才能よりも継続であることが多い。



地味で退屈な積み重ねを、
丁寧に続ける力である。



【禅定】

心を静め、
今この瞬間に
意識を置くこと。



禅定があると、
思考がクリアになる。
判断がブレなくなる。
エネルギーの無駄遣いが減る。

静けさの中に、
本来の自分を取り戻す。



情報が溢れる現代において、
最も失われがちな能力。

緊急切り

NEWS

そのまでは、
こんながこにを
受け切りとになのか。

【智慧】
本質を見抜く力。

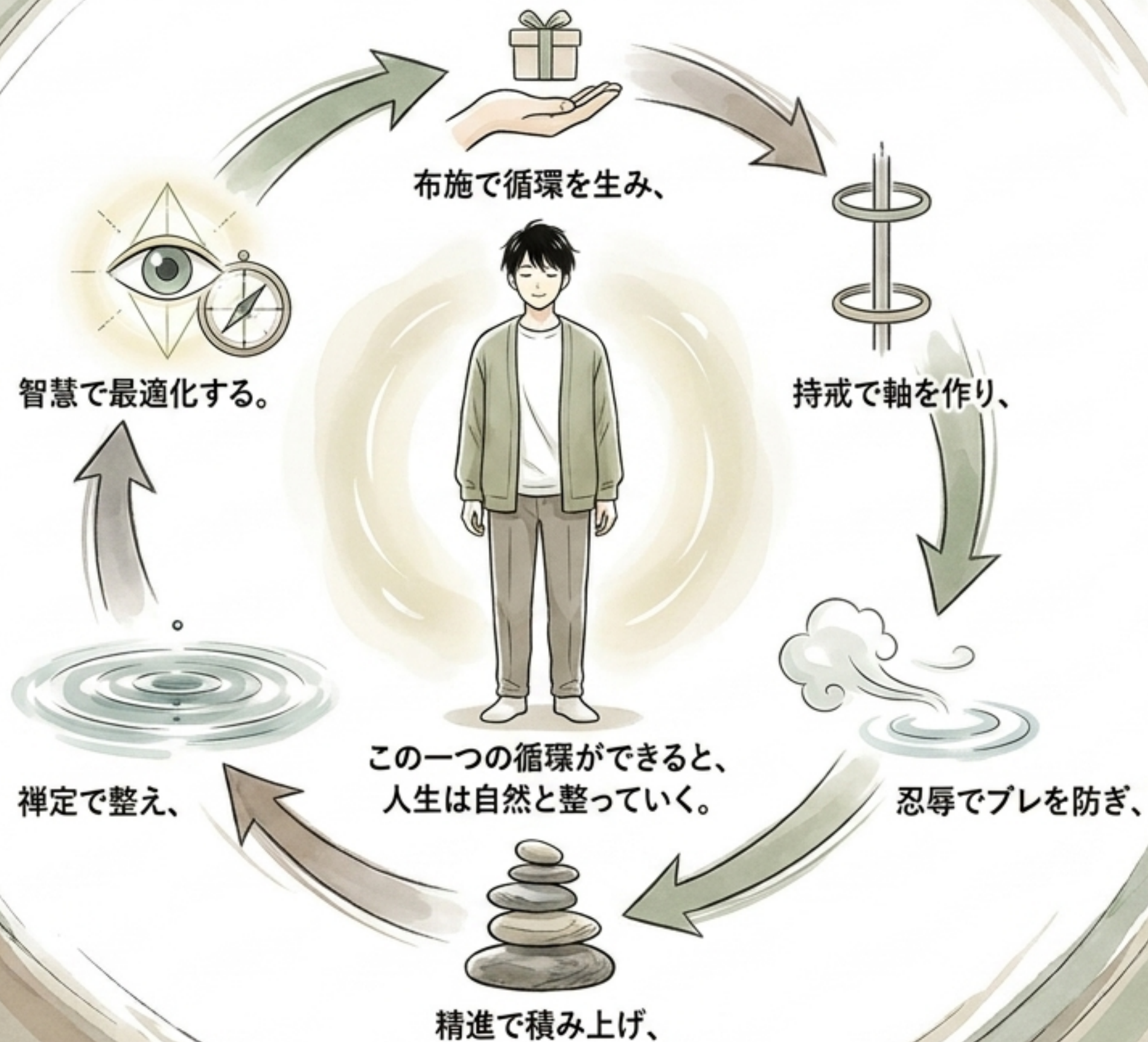
表面的な情報ではなく、
構造を見抜く力である。

知識ではなく、
使える知恵。
経験と洞察から
生まれる理解。

智慧があることで、
全ての行動が最適化され、
学んだことが現実で
生きるようになる。



六波羅蜜はバラバラの要素ではない。
TAOISMではこれを『生き方の設計図』として捉える。



面白いのは、
見返りを求めなくても、
結果として様々なものが
返ってくることに。

信頼。人脈。機会。
お金。安心。
幸福。

目に見えるものも、
目に見えないものも、
自然と集まるようになる。

なぜなら、自分自身が
その状態に相応しい存在に
存在になるからである。

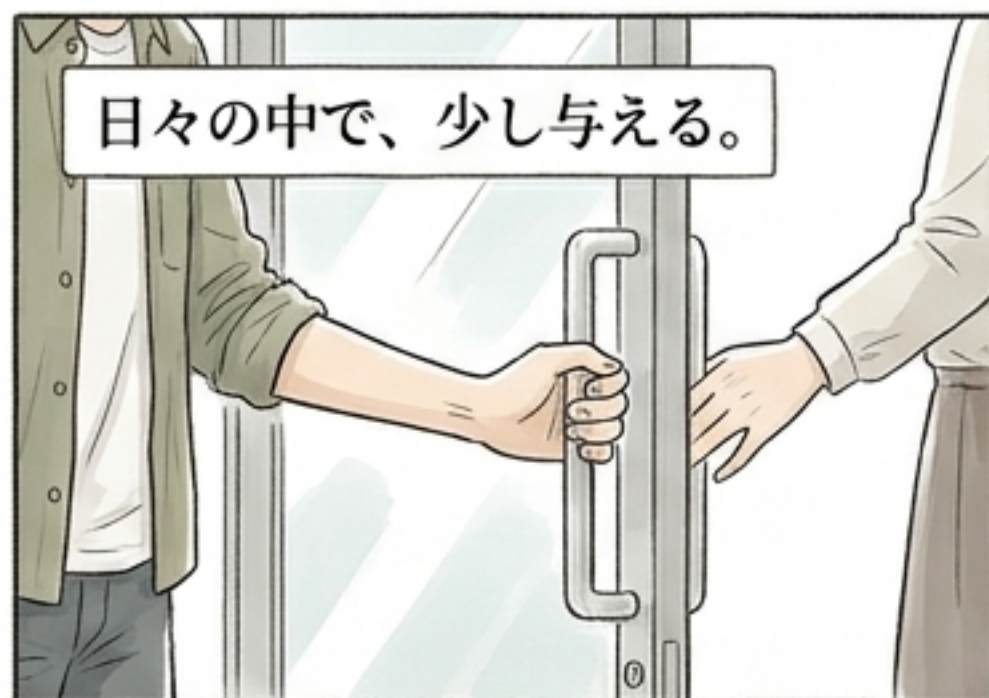




六波羅蜜とは、評価されるためのものではない。誰かに認められるためのものでもない。

自分自身が、満たされるための道である。そしてその結果として、周囲にも良い影響が広がる。アートも、ビジネスも、人間関係も同じである。

完璧を目指す必要はない。小さくでいい。



この積み重ねが、やがて大きな差になる。

六波羅蜜とは、遠い理想ではない。特別な修行でもない。

日常の中にある、最もシンプルで、最も深い生き方。

彼岸へ向かう道ではなく、

今ここをより良く生きるための道なのである。

